

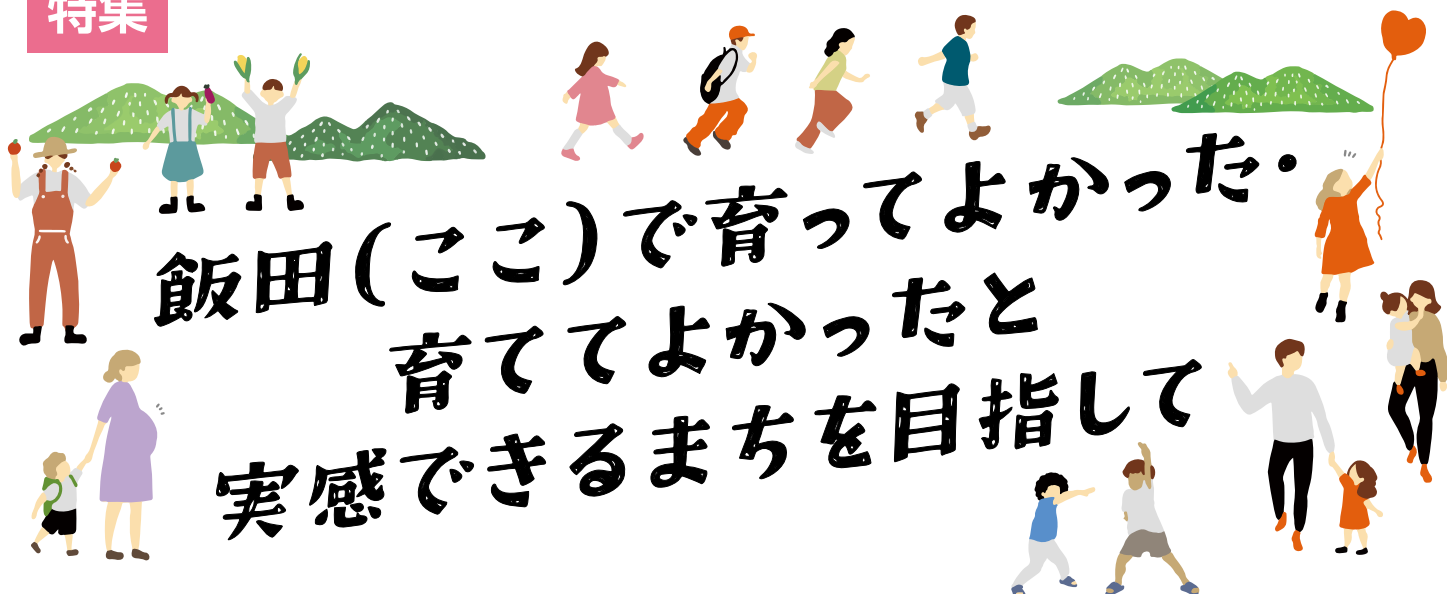


特集

飯田(ここ)で育ってよかった・
育ててよかったと実感できるまちを目指して

冬の寒さもへっちゃら!!
【上郷西保育園】

みんな元気に、はいチーズ!
かわいい笑顔を見せてくれました。



すべての子ども・若者が、自立した個人としてひとしく健やかに成長することができ、将来にわたって幸せな状態(ウェルビーイング)で生活を送ることができる「子どもまんなか社会」の実現に向けて、市では今年2月に「飯田市子ども若者まんなかプラン」を策定しました。飯田(ここ)で育ってよかった・育ててよかったと実感できるまちを目指し、取り組みを進めています。

★問い合わせ／子ども課 子育て支援係 内線5346

飯田市子ども若者まんなかプランで大切にしたい2つのこと

1

子ども・若者まんなかの視点で進める

これまでの子育て応援プランは、妊娠、出産、子育てを応援するための、大人を中心とした支援計画でした。新しいプランでは、子どもが将来の夢に向かって学び育ち、若者となって、このまちで希望するライフスタイルを実現することができるように、やがて希望する家庭を築き、自ら親として成長する中で、『飯田(ここ)で育って、育ててよかった』と実感できるように、子どもや若者の声を聴き、



その視点をまんなかにも据えたまちづくりを目指します。

生まれた子どもが成長し、やがて親として次世代を育てる、



みなさんの意見や思いをお聞きます

およそ40年にわたる「人としての成長過程のトータル」を、子ども若者期として捉えます。昨年10月には「子ども・若者の意識と生活に関する調査」を実施し、小中学生やその保護者、16歳から39歳の方々から回答いただきました。ご協力ありがとうございました。今後もみなさんの意見や思いをたくさん聴かせてください。

プランの詳細はこちら▶



若者の声や新婚、子育て世代の暮らしを子ども課 Instagramで紹介しています。
飯田(ここ)で育ち、飯田(ここ)で育てる若者たちの活躍を、ぜひご覧ください。(取材希望も受付中!)

2

地域社会全体でこども・若者・子育てを尊ぶ環境をつくる

こどもを取り巻く環境が複雑化するなか、「飯田市こども若者まんなかプラン」の実現には、家庭だけではなく地域や事業所、行政が協力し、地域社会全体でこどもや若者、子育てを尊ぶ環境づくりが大切です。

今回はそれぞれの立場で活躍する3人の方を紹介します。こどもを取り巻く環境、地域の子育て事業についてみんなで関心を持ち、それぞれの立場で自分ができることに取り組み、地域のこどもをみんなで育んでいきましょう。



子育ての楽しさや豊かさを伝えたい

子育てつどいの広場「わいわいひろば」(飯田短期大学)



宮内 愛さん

市内の高校生を対象に、卒業後の飯田での暮らしや結婚・子育てをイメージしてもらう授業「ライフデザインセミナー」に講師として参加しています。

パパママの声を聞いていると、目の前の子育てへの不安や悩みもあるのですが、我が子の誕生に大きな感動を覚え、人生を豊かにしてくれたという深い愛情を感じます。

子育てに対して「大変だ」「自分には無理だ」などネガティブなイメージを持つ高校生もいます。未来に子育てをするかもしれない高校生のみなさんに、子育ては1人で頑張らなくていい。

行政や地域のさまざまな支援があり、困った時に支えたい人が大勢いるということを伝えていきたいです。



ライフデザインセミナーの様子



赤ちゃん抱っこ体験



妊婦体験

男性育休取得者の話



高校生の感想

- 赤ちゃんは思ったより重く、ずっと抱っこするのは大変だと思いました。改めてお母さんの凄さを実感しました。
- 1人で抱え込まず、いろいろな人と支え合って子育てしていきたいと思いました。
- パートナーと協力して子育てしたいと思ったし将来が楽しみになりました。



こどもたちに第3の居場所をつくりたい

かんかん
感環自然村



きみあつ
坂井 公淳 さん

閉園した保育園の施設を活用し、学校の長期休暇などにあわせてこどもを預かる「感環KUMEハウス」を開所しています。自然体験やこども同士の交流を増やし、学校や家では経験できない学びを意識して活動しています。

学校が長期休みになると仕事を休んだり、こどもにお昼を作ったりする手間が増えて苦労している方も多いと聞きます。ここを利用することで親が少しでも楽になれたらと思います。

開所から2年たち、感環KUMEハウスを楽しみにしてくれている子も増えてきました。「久しぶり」「また来るね」など、こどもにとって家や学校ではない第3の

居場所になれてきたと思うと嬉しくなります。

地域ボランティアの皆さんが昼食のおにぎりを作ってくれます。こどもたちからも好評で、「今日はどんな中身かな」と毎回楽しみにしています。季節の野菜を入れたおかずなどもすごく助かっています。お互い楽しみながら続けていければと思います。



感環KUMEハウスの概要

- 対象：小中学生
- 実施時間：8時30分～16時30分
- 場所：久米858-10（旧さくら保育園久米分園）
- 費用：1日1人500円

※実施日などの詳細は市ウェブサイトをご覧ください



保護者の感想

- 長期休暇の間、留守番を1人でさせるのが心配だったが、利用できる居場所ができて安心して仕事に行けた。こどもも楽しく夏休みを過ごせた様子だったので助かった。
- こどももいろんな活動にチャレンジさせてもらったので自信がついたと思う。楽しかったようで本当に助かりました。



親子にもっと笑顔を

親子応援食堂「おあがりて」



池田 章子 さん

おおむね月2回のペースで「親子応援食堂おあがりて」を開催しています。仕事と育児・家事を両立するために削られてしまうこどもとの時間を、誰かの力を借りることで少しでも持てれば、子育てを頑張れるのではないかと。ご飯を作らなくていい、片付けもしなくていい、ご飯をこどもと食べて帰ったら寝るような日が一日でもあれば、親子の笑顔が増えるのではないかと、そんな思いで始めました。

利用者は多い時で150人。多くは未就学のこどもと親御さんです。スタッフは地域のボランティアの皆さん。子育て中の方からおじいちゃん世代の方まで幅

広い年代の方に協力いただいています。食材はJA女性部や青年部の皆さんから提供いただいています。非常に助かっています。

こどもだけでなく親の居場所にもしていきたいです。ほかの親がどのようにこどもと関わっているか間近で見ることで、こどもの発達や関わり方に悩む親の手助けになったり、同じ悩みを持つ親同士で情報交換したりする場所にしていきたいです。



親子応援食堂「おあがりて」の概要

- ☺️対象：どなたでも（こども、子育て中の方、妊婦さんなど）
- ☺️開催日：月に1～2回
- ☺️場所：上郷公民館
- ☺️カンパ金：300円～（高校生以上）

※申し込み方法などは「おあがりて」のホームページをご覧ください。



保護者の感想

- 乳幼児のママの働き方が、長時間化・フルタイム化しているなか、仕事が終わって保育所や児童クラブからこどもを連れて帰宅しても、夕食を用意する時間がないので、このような取り組みはとてもありがたい。
- 私とこどもがマンツーマンで食事する毎日だと、なかなか交流の機会がない。このような場所で、親にもこどもにも友達ができて、子育てを学び合えるのは嬉しい。
- 子育てに自信が持てなくて、精神的に苦しかった時期があったが、おあがりてを知り、スタッフや参加された親子と話すようになって救われた。



南信州獅子舞フェスティバル 勇壮な舞の共演



飯沼諏訪神社奉納音楽獅子舞の演舞

10月19日、25団体が参加し、飯田下伊那地域特有の屋台獅子をはじめ、各地区に伝わる獅子舞や太鼓などを披露しました。訪れた人は、獅子の表情や動きの違いを楽しみました。

峠の国盗り綱引き合戦 今年は無念の敗戦



飯田市と静岡県浜松市との「国境」を決める綱引き合戦が10月26日に行われ、激闘の末、信州軍は遠州軍に敗れました。通算成績は信州軍の19勝16敗。静岡県側に3m領地を広げています。

飯田丘のまちフェスティバル サブカル大集合



会場を盛り上げたコスプレイヤーの皆さん

11月3日に開催され、訪れた約42,000人がさまざまなキャラクターのコスプレ、痛車、国内外の名車、ドイツ在住ヨーデル歌手の石井健雄さんの歌声などを楽しみました。

ゼロカーボンの推進 南信州環境メッセ



エネルギーをテーマにゼロカーボンの未来を語る

11月1日・2日にエス・バードで開催し、企業、団体、行政など約60団体が環境に関わる取り組みを発信しました。エネルギーの地産地消に向けたグリーン水素の可能性についての講演もありました。

市公式SNSでも市内の出来事やイベントなどを配信しています。
ぜひご覧ください。

QRを
スキャン



Instagram

医療技術への理解を深める hinotori 操作体験会



シュミレーターを用いた操作体験の様子

飯田市立病院が9月に導入した手術支援ロボット「hinotori (ヒノトリ)」の一般向け操作体験会を行いました。参加者は「遠くへ行かないとできなかった手術が飯田でできたら嬉しい」と話していました。

夏祭りに代わる新イベント 橋北秋祭り



菱田春草生誕地公園と天満天神社で10月18日に開催されました。浜井場小の新米販売や飯田東中のりんごジャム販売、飯田OIDE長姫高校のテックレンジャーショーなどで盛り上がりしました。

地域全体で盛り上げる 川路ハロウィン



10月25日、お気に入りの仮装で川路公民館内を一周し、各所にいる人からお菓子をもらうハロウィンイベントが開催されました。地元小中学生もスタッフで参加し、イベントを盛り上げました。

祝 道の駅グランドオープン 輪っしょい遠山



よさこいの演舞

10月4日にグランドオープンしたばかりの道の駅「遠山郷」で11月2日に開催され、地元団体によるステージ発表や出店などを、ツーリングや旅行で訪れた地区内外の多くの方が楽しみました。

現代版 養生訓

麻酔科
岩澤 健 医師

全身麻酔と口腔内管理

全身麻酔下での手術では、口から気管に気管チューブを挿入します。口腔内には1gの歯垢に1億という非常に多くの細菌がおり、気管チューブを挿入するのに伴い、口腔内の細菌を肺に押し込めてしまうことで肺炎や気管支炎といった危険が生じます。また、動揺している歯（グラグラしている歯）がチューブなどに当たり、歯を飲み込んでしまったり、歯が気管内に入ってしまう可能性があります。

近年の研究では手術前からの歯科による口腔管理が、術後の肺炎発症予防に繋がることが示されています。さらに、口腔内や頭頸部領域、食道のがんなどの手術後は、それらの手術部位の感染症を発症する危険があります。

これらの危険を予防するために、手術などの治療を受ける患者さんを対象に、歯科医師や歯科衛生士

が、入院前から退院後まで一貫して口腔内の状態の管理を行う場合があります。これは、全身の治療を安全かつ効果的に進めるため、また術後の合併症を予防し、患者さんの回復を促すために非常に重要とされています。

当院では手術が決まった後に、歯科口腔外科への紹介後に口腔内の診察、むし歯や歯周病などの歯科治療、歯みがき指導や歯石除去、義歯清掃、口腔粘膜炎の予防・治療などが行われます。これらのケアは、病院内の歯科だけでなく、かかりつけの一般歯科医院でも受けることが可能ですので、がん等の全身疾患の有無に関わらず、健康な時から、かかりつけ歯科に定期的に通い、良好な口腔衛生状態、および歯周組織の維持をおこなっていただきたいです。

飯田市立病院 〒395-8502 飯田市八幡町438 ☎0265(21)1255

Vol.55

市長室から

市長
佐藤 健

正解

中学3年生の息子の最後の文化祭。保護者として音楽会を観に行きました。息子のクラスの合唱は、男女ともよく声が出ていて、その様子を見ていたら少しウルウル。そして、それに続く3学年全体の合唱。「正解」というタイトルのその歌は、歌詞が素晴らしく、まるで卒業式のように、ついに涙腺が崩壊してしまいました。

「ああ答えがある問いばかりを教わってきたよ／だけど明日からは／僕だけの正解をいざ探しに行くんだ／また逢う日まで／次の空欄にあてはまる言葉を書き入れなさい／ここでの最後の問い／制限時間はあなたのこれからの人生／解答用紙はあなたのこれからの人生／答え合わせのときに私はもういない／だから採点基準はあなたのこれからの人生／『よーい はじめ』」

ふと見ると、写真係をしていた先生も、眼鏡を外して目をゴシゴシして、それを見てまた…。

この曲はRADWIMPSというグループの野田洋次郎さんが2018年にNHKの「18祭(フェス)」という番組の中で、1,000人の高校生とともに作り上げた曲とのこと。今や卒業式の定番ソングの1つとなっているそうです。

あと4カ月で卒業式を迎える中3生高3生の皆さん、卒業式の前に解答用紙を「用意された正解」で埋めなければならない試練はありますが、その先の、自分の問いや願いをもとに自分の好きや得意を見つける旅に向かって、「よーい はじめ」。

●RADWIMPS「正解 (18FESver.)」より歌詞引用
作詞 野田洋次郎 作曲 野田洋次郎